

近況報告

第9期OB 渡邊 光平

こんにちは、9期の渡邊光平です。皆さんお元気ですか？僕はやはり元気です。近況を報告しますと、2020年の4月から、株式会社アマナのフォトグラファーとしてデビューしました。さらりと言い放ちましたが、これが僕の中では大事件で、2015年に2年勤めた静岡銀行を退職したのち、専門学校桑沢デザイン研究所に入学、2年間グラフィックデザインを勉強しながら青山スタジオという撮影スタジオでアシスタントを約1年半、専門学校卒業と同時に青山スタジオを退社、株式会社アマナに27歳で新卒入社。アマナで3年間のフォトグラファーアシスタントを経て、やっとの思いでカメラマンになりました。30歳。やっとならスタートラインって感じです。アマナは広告代理店/制作会社で、ストックフォトで有名な会社ですが、それはあくまでサイドビジネスで、根幹にあるのは広告制作。特に、写真で成長してきた会社で、業界ではアマナのフォトグラファーという、一目置かれる存在です。そんな、アマナのフォトグラファーに漠然と憧れて27歳にしてアシスタントとして入社したものの、フォトグラファーアシスタント、謂わゆるカメラシという職業はこれがもう本当に涙も枯れるほど大変で...。通常だと4、5年かかってもほとんどの人はアシスタントからフォトグラファーに昇格できずに辞めていく狭き門を、なんとか3年で通過することができました。これは僕の人生でもなかなかの大事件です。だれでも名乗れば今日からフォトグラファーになれるこの時代に、あえての逆張りで、1から修行して、というのは精神的にも年齢的にも非常に辛いものがありましたが、今は楽しく広告カメラマンとして生活しています。写真だけでなく映像ももちろんやるのですが、今思うと、これって小野ゼミにいた時にはじめてのことなんですよ。当時は、小野先生や8期の真央さん、黒沢さんとか、同期のりんちゃんなんかと、ゼミでの飲み会とか行事とかをただ楽しく撮っていたり、りんちゃんの送別会で竹内くんと映像をつくったりしていただいただけなんですけど、これが自分の職業になるとは、当時は思いもしなかったです。ですが、たしか3年生の時、8期先輩の奥野さんと中村あずあずさんが、こうへいの写真いいよねって、ぼそっと言ってくれたこと、本人達は覚えてないと思うんですが、それがどこか心の支えとなって、ここまで続けてこれたように思います。...ですが、最近の興味関心は専ら音楽。もともとバンドで音楽を続けてきたのですが、この1年ほどで音楽制作、プロデュース、エンジニアリング等を少しずつ手がけるようになり、ここ最近仕事として音楽制作を受けることが増えてきました。楽しいですね。僕の近況はこんな感じです。みなさんとの再会を楽しみにしています。それでは。



自宅の制作スペース。
何屋なのかも自分でもよくわかりません。